

法人名	社会福祉法人 つくしんぼの会
施設名	つくしんぼ保育園

発表者名 (職名)	小川 歩未 (保育士)	住所	横浜市磯子区杉田9-1-50		
発表者名 (職名)		TEL	045-774-6081	FAX	045-774-6081
発表者名 (職名)		メールアドレス	tkh774@iris.ocn.ne.jp		
		URL			
		定員	48名	職員数	17名

発表の概要・内容
<p>◎はじめに つくしんぼ保育園は、磯子区と金沢区の境目に位置し、鎌倉に通じる市民の森ハイキングコースにも近い所にあります。0歳児から就学時前までの子どもたち48名が在園しています。園庭が狭い事もあり、開園当初より、自然の残された公園に出かけて遊ぶことが日常の生活です。年長では氷取沢市民の森から山に入って鎌倉までハイキングコースを歩くことが行事となっています。横浜という都会の中の切り取られたような自然ではありますが、深い森の中の草原で自由に駆け回ったり、大岡川源流の沢で遊ぶことは、子どもの探求心が満たされ、子ども達の表情も生き生きとしてくるので大切にしている保育です。その中で今回は、好奇心旺盛でどこにでも行ってみたい、何にでも触ってみたい1歳児後半の公園活動を紹介させていただきます。</p> <p>◎公園での遊び 歩いて20分位の所の公園は窪地の底の様な地形にあり、公園の周りの斜面と広いグラウンドがあります。斜面の上の遊歩道、ブランコ等遊具ゾーンもありよく出かけています。遊歩道の木々は四季折々の顔を見せてくれて、紅葉を楽しんだ後の落ち葉遊びは、いろんな色の葉を集めたり、落ち葉に埋もれて落ち葉シャワーを楽しんでいます。木の幹につかまっては木登りの練習(?)をしたり、ダンゴムシなど生き物に触れて自然を満喫しています。なるべく禁止事項を少なくするように心がけています。</p> <p>◎ジュースの出でこない自動販売機・探検ゴリラの森 公園までの道のりも遊びです。車が入ってこない小道になると、手をつながないでブラブラ歩いています。途中には魅力的な自動販売機に興味津々。 子ども達は自動販売機を見上げて「リンゴジュース」おねだり。大人がボタン押し、ジュースを受け取るまねっこ、ごくごく飲んで、ごっこで一休みです。自動販売機を目指して歩くのも日課です。公園を目の前にして、誰が名づけたかゴリラの森と呼ばれる雑木林の公園までの遠回りの小道があります。子どもにとってはうっそうと茂るジャングルで、大きな丸太が転がっていたり、木の階段があったり、斜面があったり、子どもたちはしゃがんで座って降りて、手を使って登って、自然の障害物楽しんでいきます。鳥の声に耳を澄まし、木々の揺れる音にびくつきながら、自然と向き合っています。このゴリラの森での体の使い方が、公園の斜面のぼりでも生きているように思います。</p> <p>◎「うん?何?」自分の想いに一直線の1歳児後半の散歩を安全で心を満たす遊びにするには、と気を付けた事 自由にどこにでも行かせてあげたいという想いと安全、どこまで許して、どこで線を引かざるを得ないか?大人も迷いと葛藤の散歩です。担任間で話し合い、確認し合いました。第1に危険個所の確認、公園までの道のりの交通安全(公園までは車の通りの少ない道を一ける事は救われました)公園についても予測できない子どもの行動、まずはそれらを共有し、それに対応すべき大人の行動を確認しました。 公園では子どもの居場所・遊び、他の保育士の居場所の把握ができるように、声を掛け合うよう気をつけました。見られる範囲には制限があり、公園では保育士は絶えず気を張っていました。危険がいっぱいと思えるゴリラの森では、子ども自身が森の小道を進む事や探索に集中している事で、予想外な行動をとることもなく、あまりヒヤヒヤしないで大人も楽しんで遊べていました。安全に遊ぶために必要な事を大人も学びながら探索活動や散歩を楽しんでいます。</p>